LIBRA SQUARE
リブラ・スクエア

cinema
心に残る映画

『存在の耐えられない軽さ』
1988年／アメリカ／フィリップ・カウフマン監督作品

「プラハの春」を生きた男と女の物語

1968年のプラハに，トマシュ（ダニエル・デイ・ルイス）というハンサムで有能で女癖の悪い外科医がいた。お約束の看護婦をはじめ，手当たりしだいに女性を口説き，「プラハの春」といわれた時代の雰囲気に乗るかのように，自由奔放な生活を送っていた。

そんなトマシュが仕事で訪れた温泉町で，ふと目にとまった娘テレーザ（ジュリエット・ビノシュ）を，いつものように何気なく挑発したところ，田舎娘のテレーザはたちまちトマシュの虜になり，突然トマシュの部屋まで押しかけ居座ってしまう。そんなこんなでこれまで女性と深く付き合ったことがないトマシュは，困惑しつつもテレーザとの生活をはじめ，押し切られて結婚までしてしまう。しかし，それでも昔からの恋人であり，誰よりもトマシュを理解する芸術家のサビーナ（レナ・オリン）とは関係を続けていく。

この物語はこのような感じで始まるが，その後は，ソ連の侵攻にともないプラハも激動の時代を迎え，3人の置かれた環境も次第に変化していくことになる。そこでもトマシュは，題名にあるとおり，一貫して，テレーザには耐えられないほど軽く，自由に生きてゆく。ただし，彼の生き方は，ただ「軽い」というだけではない。戯れで書いたにすぎない，共産党批判の論稿の撤回声明文に署名することを断固拒否するなど，あくまで自らの意思の自由を貫く。そしてその結果，病院を追放され，窓拭きで生計を立てるようになっても，変わることなく飄々と生きていく。そんなトマシュの生きざまは，本当にカッコいい。

トマシュとの関係に悩み，ひたすら暗く落ちていくテレーザ。そんな妻を必要と感じ，自らを変えないながらも最後まで思いやるトマシュ。2人とは対照的に，幸せで安定した人間関係を敢えて捨て，自由を貫くサビーナ。彼らの生き方には，それぞれ考えさせられるものがあり，見る人により感じ方が違ってくるところが面白い。

本作は，ミラン・クンデラの同名小説の映画化であるが，カウフマンの淡々とした語り口が，見る者をぐいぐいと引き込んでいき，長い映画なのにそれを感じさせることがない。役者陣も絶妙にはまっており，それぞれいい味を出している。特に，表情で女性を手玉に取るダニエル・デイ・ルイスを見るだけでも価値はある。

（会員　齋藤 理英）

「行政法研究部」発足
―部員募集中!!―

問い合わせ先
総務課 TEL.03-3581-2204

法律研究部にこの4月から新たに行政法研究部が発足スタートした。

小田急高架事業の認可取消訴訟，東京都外形標準課税訴訟など大きく報道された判決もあって，市民の行政事件に対する関心も高まっている。また，国会でも行政争訟制度の改革が検討されている。

行政事件訴訟法，行政不服審査法などの行政救済法並びに行政手続法など行政関係法規及び行政事件実務について研究し，行政訴訟への高い対応能力を備えませんか！

book 最近，おもしろかった本



『夜回り先生』 水谷修 著　サンクチュアリ出版　1470円（税込）

非行少年と向き合い，更生への道を共に模索

本書の著者である水谷修氏は，横浜市の夜間高校の教員をしながら，「夜回り」と呼ばれる夜間パトロールを行なって，少年の非行や薬物使用の問題に取り組んでいることから，「夜回り先生」と呼ばれており，2002年度の第17回東弁人権賞を受賞されている。

本書では，水谷氏が「夜回り」の中で，これまで出会った非行少年たちと向き合った体験が綴られている。そこでは，成功した体験だけでなく，失敗した体験も率直に述べられている。

本書に登場するのは，夜の街で不良となったり，暴走族に入ったり，暴力団に組み込まれた不幸な非行少年たちである。

水谷氏は，恵まれない生育歴や生育環境から，そのような非行に走らざるを得ない彼らを，まず全面的に肯定して受け入れた上で，よく話し合い，更生への道を一緒に模索しようとする。

そこに感じるのは，非行少年は大人たちの被害者であるとの確信と，昼の世界ではその存在を認められず，愛に飢えている非行少年たちに対する水谷氏の暖かいまなざしである。水谷氏は，子どもたちは「花の種」であり，社会が子どもを慈しみ，愛し，丁寧に育てれば，必ず美しい花を咲かせると考えて，それを実践している。

本書で取り上げられている水谷氏の実践例を読むと，現代の非行少年の抱える問題の大きさを反映して壮絶な内容となっているが，読後には何か救われた気持ちになる。

最近，子どもたちが何を考えているのかよく分からないと嘆く大人たちが多くなっている。本書はそのような大人たちに是非とも読んでもらいたいし，特に，少年事件に取り組もうとしている若い弁護士に是非ともお勧めしたい本である。

（会員　山下 幸夫）

図書館だより　インターネットで資料を探す

インターネットによる資料検索として有用なツールを紹介する。

○「**法令データ提供システム**」（**総務省行政管理局**）
http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi

法令名（略称法令名からの検索も可）中の用語，50音，事項別分類，法令番号から目的の法令を探す「法令索引検索」と，法令の中で使われている用語から目的の法令を探す「法令用語検索」の2つの検索方法がある。また，「廃止法令等一覧」では，法令データ提供システム運用開始（2001年4月）以降に，廃止等でシステムから削除した法令データを閲覧できる。注意点としては，①更新時期は毎月末で，前月末までに公布された法令を掲載しているので，掲載までに最長2か月近くかかってしまう，②未施行の法令はキーワード検索ができない，③条約・最高裁判所の規則は入っていない（＊後者は最高裁のHPから閲覧可）など。

○「**各府省・独立行政法人等のホームページ**」（**総務省行政管理局**）
http://www.e-gov.go.jp/link/link.html

法令データ提供システムで検索できなかった場合や告示，通達を検索する場合に有用。

○「**全国条例データベース**」（**鹿児島大学**）
http://joreimaster.leh.kagoshima-u.ac.jp/reiki.htm

例規集リンクを利用すると都道府県，市町村が開設しているネット例規集にリンクしている。

なお，国立国会図書館議会官庁資料室のサイトからも条例を探すことができるが，リンクは都道府県のみ（**http://www.ndl.go.jp/horei_jp/Countries/Japan/Japan_horei_local.htm**）。

○「**路線価図等閲覧**」（**国税庁**）
http://www.nta.go.jp/category/rosenka/rosenka.htm

このサイトでは過去3年の全国の路線価図をPDFファイルで提供している。

○「**雑誌記事索引検索**」（**国立国会図書館**）
http://opac.ndl.go.jp/Process

当館では所蔵していない雑誌の記事や，古い雑誌の記事を検索する場合に便利なサイト。論文名などからの検索ができる。

○「**都立3館の蔵書検索**」
http://www.library.metro.tokyo.jp/

当館で所蔵していない図書を探す場合に有用。このサイトでは，都立中央，日比谷，多摩の3図書館の蔵書が検索できる。さらに，都内23区および都下の公共図書館の所蔵も横断検索できる（未参加の自治体もあり）。

○「**TRC新刊書籍検索**」（**図書館流通センター**）
http://www.trc.co.jp/trc-japa/search/trc_www.asp

1980年1月以降に出版された日本の新刊書籍（累積件数100万件以上）を検索できる。

○「**Books.or.jp**」（**社団法人 日本書籍出版協会**）
http://www.books.or.jp/

国内発行で入手可能な書籍（およそ62万点）を収録。各出版社よりタイムリーに提供している書籍情報（既刊分）を反映。

※今回紹介したサイトは2004年3月下旬現在のものであり，以後，先方の都合により変更される場合があるのでご注意下さい。

（東弁・二弁合同図書館事務局　白川 智行）